



八坂小通信

臨時号 平成 31 年 2 月 28 日

練馬区立八坂小学校

校長 工藤 智昭

<http://www.yasaka-e.nerima-ky.ed.jp/>

日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力いただきまして感謝申し上げます。12月にご協力いただきました本校の教育活動に関するアンケートの結果がまとまりました。学校評価、学校関係者評価の結果と共にお知らせいたします。また、平成31年度の行事予定（後日変更する可能性あり）も付けましたので参考にしてください。

アンケートの設問	教員	保護者	児童
～ は「学力の向上」に関する設問			
～ は「ゆたかな心の育成」に関する設問			
～ は「体力の向上・健康安全教育の推進」に関する設問			
～ は「みんな（地域・家庭・学校）で育てる」に関する設問			
（児童は）意欲的に学習に取り組んでいる。	95.3	75.6	79.2
（児童は）学習規律（あいさつ、話の聞き方、話し方）を守って学習に取り組んでいる。	60.8	86.1	60.8
（児童は）授業の内容を概ね理解している。	87.0	81.6	83.6
（児童は）各教科の基礎的・基本的な内容を身に付けている。	78.3	83.8	82.0
（児童は）進んで本を読もうとしている。	69.5	49.9	68.7
（児童は）楽しく元気に登校している。	91.3	93.3	83.5
（児童は）進んで挨拶している。	52.2	70.9	70.0
（児童は）学校のルールを守って、落ち着いて生活している。	39.1	90.1	85.5
（児童は）友達と仲良くし、協力し合いながら生活している。	73.9	93.8	86.9
（児童は）善悪の判断をし、正しく行動している。	73.9	93.8	83.9
（児童は）進んで外遊びをしたり、運動したりしている。	100	81.6	86.7
（児童は）早寝・早起き・朝ごはんの大切さや時間を意識して、健康的に生活している。	78.3	78.6	76.4
（児童は）給食指導を通して食の大切さ（マナー・栄養バランス・感謝）を意識している。	69.6	75.4	73.7
（児童は）校内・校外の安全に気を付けて行動したり、防災・不審者への対応を理解したりしている。	82.6	91.6	90.5
（学校は）保護者会や学校公開、各種のお知らせ（HPなども含む）を通じて、教育方針や内容、活動の様子を伝えている。	95.7	94.3	
（学校は）保護者、地域の方々の意見を聞きながら教育活動を行っている。	95.7	89.9	
（学校は）PTAや地域と共に協力して学校行事や地域行事などの活動をしている。	100	97.2	
（学校は）保護者、地域の方々の協力の下、農業体験や地域巡りなど、地域の特色を生かした教育活動を行っている。	100	98.4	

評価は、「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「思わない」の4段階で行い、肯定的な評価（「そう思う」「だいたいそう思う」）の合算値（単位は%）を表記しました。網掛けの部分は、80%以上の項目です。

< 「学力の向上」に関して >

学習に対する意欲や、授業内容の理解については概ね高い評価を得ました。一方で、学習規律や、読書については70%を下回る評価が多く、特に読書については3者とも70%を下回る評価となりました。

< 「ゆたかな心の育成」に関して >

楽しく元気に登校しているという点については3者共に高い評価をしています。しかし、あいさつについては、3者共に80%を下回る評価でした。また、ルールを守るという項目では、教員の評価が40%を下回る低い結果となりました。

< 「体力の向上・健康安全教育の推進」に関して >

遊びや運動、安全教育や不審者対応等については80%以上の高い評価を得ました。しかし、健康的な生活習慣の確立や食育に関する指導についての評価は、80%を下回る結果となっています。

< 「みんな（地域・家庭・学校）で育てる」に関して >

学校と地域・保護者との連携についてはどの項目とも概ね90%、またそれ以上の高い評価を得ることができました。

以上のアンケート結果を受け、1月に学校評価（自己評価）を行い、今年度の教育活動の成果と課題を明らかにすると共に、次年度に向けた改善策や新しい取組について検討しました。そして、2月に行った学校評議員会において自己評価の結果を学校評議員の方々に評価していただきました。（学校関係者評価）その結果を次ページにまとめましたのでご覧ください。

平成30年度練馬区立八坂小学校 学校評価の概要

領域	学校自己評価 (成果と 課題)	学校関係者評価 (学校評議員の皆様のご意見)	評価
学力の向上	<p>低学年対象の放課後補習教室（地域未来塾）は基礎学力定着に効果があった。中学年・高学年でも実施してく。</p> <p>読書習慣についての評価はまだ全体的に低いですが、昨年度よりも高くなっており、取組の成果が少しずつ表れてきている。</p> <p>学習規律に関する評価は昨年度より低くなっており、次年度の<u>重点課題</u>として取り組んでいく必要がある。</p> <p>児童の学習意欲を高めていくための工夫（授業改善）が必要である。（特に次年度はICT機器の活用を図っていきたい。）</p>	<p>地域未来塾では、かけ算九九が定着していない2年生や、繰り上がりくり下がりが定着していない1年生を対象に指導を行っている。個性があり、指導がしにくいこともあるが、身近に関わることができるので良い指導場面になっていると思う。子供の自信となるよう関わっている。</p> <p>音読はやってはいるが、毎日続かないことが多い。読書も家ではあまりやらない。今の子供は習い事などで忙しいのではないか。親の方も子供にかかる時間が少なくなっていると思う。</p> <p>小さな頃はよく本を読んでいたように思うが、年齢が上がるにつれ、PCやゲーム、スマホ、動画などに没頭するようになってきているように感じる。</p>	C
豊かな心の育成	<p>善悪の判断をし、正しく行動できる児童が増えてきた。（道徳や学級指導の成果が表れてきている。）</p> <p>異学年交流に関する取組を通して、児童の人間関係構築力が高まり、相手意識をもって行動する児童が増えた。</p> <p>あいさつに関するいくつかの取組を行ってきたが、習慣化するまでには至っていない。次年度の<u>重点課題</u>として取り組んで行く必要がある。</p> <p>今年度に引き続き生活スタジアムの徹底を図り、児童の規範意識を高めていく必要がある。</p>	<p>顔見知りの子はよく挨拶をしてくれるが、今の時代、知らない人に対してはなかなか挨拶をしないのではないかと。こちらから声をかけて挨拶をすると返してくれる子も多い。挨拶がまだ習慣化していない子もいるのではないだろうか。</p> <p>学校公開の様子は比較的落ち着いて学習に取り組んでいるように感じた。校外学習やゲストティーチャーが来るとしっかりとした態度になるそうなので、普段からもきちんとした態度で学習に臨んで欲しい。</p>	B
体力の向上・健康安全教育の推進	<p>校内研究（体育）や体育的な活動の取組を通じて進んで体を動かそうとする児童が増えた。</p> <p>安全教育に関する取組を通じて、児童の安全に対する意識や危機回避能力を高めることができた。</p> <p>家庭と連携した健康教育や食育については更にその取組を充実させていく必要がある。特に食育については、全体計画の見直しを図り、次年度の<u>重点課題</u>として取り組んでいく。</p>	<p>食育は学校だけではなく、家庭もしっかりとやっていく必要があるのではないかと。親がしっかりと食育について考えて欲しい。</p> <p>高学年の児童が道路の歩き方のルールをしっかり守って欲しい。危ない場面を何度か見かけました。</p> <p>共働きの家庭（特に若い世代）が増えてきており、生活スタイルも夜型になってきているので、早寝・早起きの生活習慣の定着が難しくなっている面もあると思う。</p>	A
学校（地域・家庭・みんな）で育てる	<p>地域連携事業の充実を図り、地域未来塾やゲストティーチャーによる授業等、地域人材を活用した活動を多く実施することができた。</p> <p>PTAや地域との連携を密にしながら様々な行事を実施することができた。</p> <p>学校だよりや学校ホームページだけではなく、いろいろな形で教育活動の様子を発信していくようにする。</p>	<p>支援を要する児童に対しての指導はどのようにしているのでしょうか。家庭での影響もあるように感じています。</p> <p>各学年で身に付けるべきこと（学習面・生活面）は相応の学年できちんと身に付けさせておきたい。</p> <p>地域でルール・マナー違反をする大人をよく見かける。これでは子供もルールやマナーを守らなくなってしまう。大人や親がしっかりと範を示して欲しい</p>	A

学校評議員の皆様には、30年度の取組（「学力の向上」、「豊かな心の育成」、「体力の向上・健康安全教育の推進」、「みんな（地域・家庭・学校）で育てる」）についてA～Dの4段階で評価していただきました。